

大津市予防接種協議会 会議録

令和5年9月26日(火)

16時00分～16時40分

明日都浜大津5階

中すこやか相談所内 会議室

(委員はWEB会議)

出席者 委員7名

中野恭幸委員、重永博委員、藤井靖子委員、尾辻りさ委員、中嶋敏宏委員、
上杉康晴委員 中村由紀子委員

事務局6名

松浦保健予防課長、平田保健予防課長補佐、白井保健予防課副参事、石原保健予
防課主任、近藤保健予防課主任、新矢保健予防課主事

傍聴者0名

諮問事項

- 1 大津市における予防接種の実施状況について
 - (1)大津市における定期予防接種実施状況
 - (2)予防接種の安全実施に向けて
 - (3)大津市における予防接種健康被害認定、申請状況
 - (4)風しん抗体検査事業および風しん予防接種の実施状況

報告事項

- 2 新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について
- 3 五種混合ワクチンについて
- 4 小児に対する肺炎球菌ワクチンについて

会議録

【事務局】定刻になりましたので、ただ今から、令和5年度大津市予防接種協議会を開催させていただきます。私は、本日の司会を務めさせていただきます、大津市保健所保健予防課の白井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

ここで、会議の公開について、ご連絡申し上げます。当協議会の会議は、大津市における「大津市附属機関等の設置及び運営に関する指針」に基づき、一般公開とさせていただきます。

本日の会議につきましても、市のホームページで事前に周知させていただいております。傍聴につきましては、会長の承認を得ることとなっておりますので、現在のところ傍聴希望者はおられません。

んが、希望者がありましたら、会長の承認の下に、随時傍聴をしていただくことになります。
また、本日の会議結果につきましては、市のホームページに議事内容を掲載させていただきます。
会議内容について録音をさせていただきますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。それでは、開会に当たりまして、大津市保健所長 中村よりご挨拶を申し上げます。

【所長】それでは、失礼いたします。皆様こんにちは。いつもお世話になっております。本日はお忙しいところ、大津市予防接種協議会にご出席いただきありがとうございます。

会議に先立ちまして、予防接種関連の話題に少し触れさせていただきます。まず、HPVワクチンにつきましては、この4月から9価ワクチンのシルガードが定期接種の対象になったところですが、8月末時点のHPVワクチンの発注状況をみますと、約8割が9価ワクチンを使用されているということで、9価ワクチンで接種される方が非常に増えているという状況です。引き続き、接種勧奨と正しい情報の周知に努めてまいります。

また、新型コロナウイルス関係では、9月20日から秋開始接種が始まっております。秋開始接種では、初回接種を終了した6か月以上のすべての方が対象になっており、使用するワクチンもオミクロン株XBB. 1. 5対応1価ワクチンに変更になりました。引き続き、お力添えのほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本市は、定期予防接種の実施主体として安全・安心な実施体制の整備及び予防接種率の向上という大きな責務を担っております。本日は限られた時間にはなりますが、忌憚のないご意見をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。以上、簡単ではございますが、私からの挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】ありがとうございました。

続きまして、当協議会の委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

滋賀医科大学 内科学講座 呼吸器内科 教授 中野恭幸様。

公益社団法人 大津市医師会 会長 重永博様。

公益社団法人 大津市医師会 副会長 藤井靖子様。

公益社団法人 大津市医師会 公衆衛生部長 尾辻りさ様。

市立大津市民病院 副院長 小児科診療部長 中嶋敏宏様。

大津市教育委員会 学校教育課長 上杉康晴様。

大津市保健所長 中村由紀子です。

なお、滋賀医科大学 小児科学講座 講師 澤井 俊宏様におかれましては、本日公務のため欠席でございます。

以上の皆様でございます。

続きまして、事務局職員の紹介をさせていただきます。

保健予防課長の松浦でございます。

保健予防課課長補佐の平田でございます。

予防接種係の石原でございます。

予防接種係の近藤でございます。

予防接種係の新矢でございます。

保健予防課副参事の白井でございます。

それでは、当協議会規則第5条の規定に従いまして、この後の議事につきましては、重永会長に進行をお願いしたいと存じます。重永会長、よろしくお願いいたします。

【会長】皆様こんにちは。いつもありがとうございます。よろしくお願いいたします。

それではこれより議事の進行を務めさせていただきます。本日の会議は17時00分までの予定となっておりますので、会議がスムーズに進みますよう、委員の皆様のご協力をお願い申し上げます。まず、諮問事項について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】それでは1ページ目の資料1定期予防接種実施状況について説明いたします。こちらは、令和3年度と令和4年度の予防接種の対象者、接種者、接種率を集計したものになります。接種率については、ある時点の1学年分の人口で算出しているため、接種期間の長い予防接種については100%を超えており正確な接種率ではありませんが、毎年同じ方法で算出し、年度ごとの推移を評価しております。2ページ目右下は、令和4年度の実施状況についてまとめたものになります。表を見ながら令和3年度から変動があった点について詳しく説明していきます。まず、1ページ目ですが、令和4年度は小児用肺炎球菌4回目が93.4%から95.3%に上昇し、ヒブ4回目の接種率も93.6%から96.0%に上昇しましたが、四種混合4回目は94.7%から92.6%と減少しております。また、毎年度の傾向として小児用肺炎球菌、ヒブ、四種混合は初回接種及び1期初回と比べ、4回目及び1期追加の接種率が低くなっております。これは、出生後、予防接種が続いてある時期と違い、しばらく予防接種がない時期を経て接種するワクチンになり、接種忘れにつながりやすいのではと推測しております。次に2ページ目に移ります。まず、水痘については、水痘1回目の接種率は95.5%に上昇しましたが、水痘2回目は90.5%と令和3年度と同程度でした。2回目の接種率が低くなる背景として、水痘2回目は他に接種するワクチンがない時期になり、接種忘れにつながりやすいのではと推測しております。次に、麻しん風しんについては、麻しん風しん第1期の接種率が92.5%から94.9%に上昇しました。麻しん風しん第2期については、年長児に個別通知や保育園、幼稚園を通じた接種勧奨等を実施しており、95.0%と国の目標接種率を維持することができております。次に、日本脳炎についてですが、令和3年度は製造中断によるワクチン供給不足により、初回接種1、2回目の方を優先し接種することになっており、接種率が低下していましたが、令和4年度はワクチン供給が安定し、接種率が上昇しました。次に、高齢者インフルエンザについては、令和4年度についても58.0%と対象者の約6割が接種しておりました。高齢者肺炎球菌については、令和4年度の接種率は25.6%と毎年接種率は減少してきておりますが、平成26年10月1日から始まった特例措置により、令和元年以降、70歳以上の方はこの間に2回定期接種のチャンスがありましたので、希望者は定期接種できたのではないかと考えております。次に3ページ目

について説明いたします。こちらは、HPVワクチンについての定期接種とキャッチアップ接種の接種率になります。まず、11歳から16歳までの定期接種ですが、令和4年度の接種者数は延べ2,317人で、積極的な接種勧奨再開前の令和2年度より約4倍となっております。令和4年度の接種者数は令和3年度の2,783人より少なかったですが、その背景には、対象年齢に幅があり、すでに接種済の方もおられるためではと考えております。令和4年4月から始まったキャッチアップ接種の接種者数は、延べ2,554人で、17歳から25歳までの女性の18.9%が接種されている状況でした。積極的な接種勧奨再開後の本市の対応としては、定期接種の対象者、キャッチアップ対象者に個別通知による接種勧奨を実施しております。

続きまして、4ページ目に移ります。こちらは、令和4年度の接種率向上に向けた大津市の取り組み状況を表にしたものになります。毎年、いろいろな取り組みをしておりますので、主に令和3年度と異なる点等について説明いたします。まず1点目は、日本脳炎の接種勧奨についてです。令和3年度はワクチンの供給不足がありましたので、接種勧奨を取りやめておりましたが、令和4年度はワクチン供給が安定したため接種勧奨を再開し、特例対象の18歳に個別通知、学校を通じて小学4年生、小学5年生に接種勧奨チラシの配布を実施いたしました。2点目は、LINE、とも育アプリを使った接種勧奨についてです。どちらも令和4年度末から登録者へのメッセージ配信を開始し、四種混合の接種開始年齢が3か月から2か月に変更になること、接種忘れの多い麻しん風しん、水痘、二種混合について接種勧奨のメッセージ配信を実施いたしました。5ページ目の資料1-3は、乳幼児健診時の接種勧奨に使っているチラシになります。1歳前後以降の予防接種については、接種忘れの多いことが定期接種の実施状況からも分かりますので、対象者の保護者に対面でお会いする乳幼児健診時に接種勧奨を実施しております。まず、5ページ目の10か月健診用では1歳までで接種期間が終わるB型肝炎、BCG、1歳以降に追加接種が必要なヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、1歳から接種が始まる麻しん風しん、水痘について案内しております。6ページ目の1歳9か月健診用では、麻しん風しん、水痘、1歳以降の追加接種について案内をしております。7ページ目の2歳6か月健診用では水痘と標準的には3歳から接種する日本脳炎についての案内をしております。8ページ目の3歳6か月健診用では日本脳炎の接種が始められているか、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合の接種忘れがないか、年長児になったときに接種する麻しん風しんの案内を実施しております。乳幼児健診を担当するスタッフに対しては、令和4年度は9月、今年度は4月に各乳幼児健診時の接種勧奨ポイントについて研修を実施しております。

次に9ページ目の資料2について説明いたします。こちらは、令和4年4月1日から運用を開始しております、大津市造血幹細胞移植後のワクチン再接種費用助成についての実施報告になります。この制度は、造血幹細胞移植によって、移植前に受けた予防接種により得た免疫が低下又は消失した方が、任意で再接種した際の経済的負担の軽減と、これらの方の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的としております。制度の周知は、市のホームページへの情報掲載や広報おおつへの記事の掲載、LINE、とも育アプリでの情報配信、医療ネット滋賀で造血幹細胞移植の登録のある近隣医療機関19か所にチラシを送付することにより行っております。チラシについては10ページ目にある「造血幹細胞移植を受けられたみなさまへ」を送付しております。現在、4件の認定をして

おり、認定者は随時再接種をしておられる状況で、8月末までに1件の再接種費用の助成を行っております。また、先週、新たに1件の申請がありました。

次に、11から13ページ目の資料3-1、資料3-2について説明します。資料3-1では令和4年度の定期接種の規定外接種を内容ごとに一覧にしております。昨年度の定期接種規定外接種は22件で、令和3年度の25件、令和2年度の35件より減少しておりますが、重大な間違いが、令和3年度は1件、令和2年度は2件であったのに対し、令和4年度は7件と増加しております。重大な間違いの内容として、令和3年度までは有効期限切れワクチンだけであったのに対し、令和4年度はロタテックの接種期間の超過や間隔間違い、ロタリックスとロタテックを交互に接種、ヒブワクチンの溶解忘れ等、今までにない間違いが発生しております。この背景としては、新型コロナウイルスの感染拡大やコロナワクチン接種による医療機関の多忙さがあったのではないかと推測しております。重大な間違いが発生した際には、当該医療機関に対し再発防止の指導を実施すると共に委託医療機関に対し注意喚起の通知を実施しております。次に13ページ目の資料3-2について説明します。一番上のグラフが間違い内容別報告件数、真ん中のグラフがワクチン別報告件数になります。間違いの内容としては、接種間隔の間違いが一番多く、ワクチン別では子宮頸がんワクチンによる接種間隔間違いが多くなっております。子宮頸がんワクチンは令和3年11月に積極的な接種勧奨を再開し、令和4年4月からキャッチアップ接種の開始により接種者が増加していますが、接種間隔の認識不足があり、接種間隔の1か月を4週で計算する間違いが発生しております。よくある間違いについては、注意喚起の通知を実施し、同じ間違い接種が発生しないよう周知を行っております。3つ目は医療機関別の間違い件数をグラフにしたものになります。令和4年度は17か所の委託医療機関で規定外接種が発生いたしました。1件の規定外接種があった委託医療機関が12件、2件の規定外接種があった委託医療機関が5件でしたので、同じ委託医療機関で何度も規定外接種が発生する状況ではありませんでした。同じ委託医療機関で繰り返し規定外接種が発生した場合や特に重大な間違い接種があった場合は、現地指導を検討しています。定期接種ではしばらく現地指導を実施しておりませんが、この後、説明する新型コロナワクチン規定外接種では3件、現地指導を実施しております。定期接種の規定外接種については以上になります。

続きまして、12ページに戻っていただき、新型コロナウイルスワクチンの規定外接種について説明いたします。一番多い間違いがコロナウイルスワクチンとの接種間隔不足になり、次が他のワクチンとの接種間隔不足、その次に多いのが接種対象者の間違い、承認された回数以上の接種が4番目になっております。こういった間違いが起きている要因としては、1回目、2回目で終了する予定だったコロナウイルスワクチンが、3回目以降、現在は7回目まで接種が進んでおり、接種回数がかかり増えているということ、ワクチンの種類が増えたこと、接種間隔が当初追加接種は8か月空けて接種となっていたものが、3か月になっているということで、接種回数や間隔が変わってきて規定外接種が起きている要因ではないかと推測しております。

続きまして、15ページ目になります。予防接種健康被害救済制度の申請、認定状況になっております。令和3年度から現在に至るまで25件の申請が津市に上がっております。このうち8件が認定、1件が否認という結果になっております。最近の話になりますが、9月8日に2件の死亡事例が

認定という結果になっております。

続きまして、14ページ目になります。定期予防接種健康被害の認定状況について説明させていただきます。定期接種では5名の方が予防接種健康被害の認定を受けておられます。表の1から4番目の方は、現在受診はされていませんが経過観察中で健康手帳の更新を3年ごとに実施しております。5番目の方については、年2回の受診をされていましたが、今年度に入り受診が終了し、今年度末で手帳の有効期限が切れますが、手帳の更新はされないと伺っております。

次に16ページ目をご覧ください。滋賀県風しん抗体検査事業の実施について説明いたします。抗体検査数に関しましては、令和2年度から令和4年度の3年間は横ばいとなっております。その中で陰性率に関しましても、約35%から40%となっております。17ページは実施状況をグラフにしたものになります。20代から30代の男女が多いという結果が出ております。

次に18ページをご覧ください。大津市風しん任意予防接種費用助成の実施状況になります。令和2年度から令和4年度の3年間は約250件で件数も横ばいとなっております。

次に19ページをご覧ください。追加的風しん対策の抗体検査と予防接種の実施状況となっております。令和4年度は抗体検査が901件、予防接種が176件と令和2年度、令和3年度に比べ大幅に減少していますが、令和3年度で終了予定の事業で、令和元年度から令和3年度までの3年間に抗体検査、予防接種をすでに受検されていると推測しております。以上になります。

【会長】ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等ありますでしょうか。

【委員】いつもありがとうございます。資料1-3に予防接種ガイドということで、10か月健診から3歳6か月健診までリーフレットを作成しておられますが、これに追加してほしい予防接種があります。まず、1歳の誕生日までのところですが、BCGは99%の接種率がありますのでそこまで強調はしなくて良いとは思いますが、B型肝炎3回目を忘れるのがとても多いです。B型肝炎の枠の右上ぐらゐに大きな字で1歳を過ぎたら自費になりますとか、公費は1歳までですという形で保護者の目に留まるような形で案内をしてほしいと思います。1歳9か月健診のところ、麻しん風しんの予防接種も忘れてほしくない予防接種になりますので、1歳の間にということをも右上に大きな字ではっきり分かるようにアピールしてほしいと思います。2歳6か月用のガイドですが、日本脳炎予防接種の案内が主な感じはしますが、3歳までに水痘の予防接種を終わらせないとイケませんので、3歳までですというように大きな字でもう少し強調してほしいです。2回目の接種ができておらず、誕生日を過ぎてから気づき接種ということがあります。保護者に自費でも接種をしたほうが良い事を説明して接種をしますが、なるべく忘れないように保護者にアピールするような形で強調してほしいなと思います。

【事務局】ありがとうございます。また修正させていただこうと思います。

【委員】大津市の接種率向上にむけた取り組みについてですが、他の医師から日本脳炎と二種混合のはがきを一緒に送付するのをやめてほしいと意見があり、はがきが届くと医療機関に予約が入るのですが、一緒に届くと混雑するので、できれば分けて送付してほしいという意見がありますのでお伝えします。

【事務局】分かりました。同じ時期に送付していましたが、検討させていただきます。ありがとうございます。

【委員】よろしくお願いします。

【会長】ありがとうございます。他にご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

報告事項について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】20ページをお願いいたします。新型コロナウイルスワクチンの接種実績と令和5年秋開始接種についてご説明いたします。20ページの下部を見ていただきますと、新型コロナウイルスワクチンの1回目から6回目までの接種実績となっております。回数を見ていただきますと、対象者の7割以上の方が3回目の追加接種まで完了しておられます。年代別に見ていただきますと、65歳以上の高齢者の5割近くの方が6回目まで接種を完了しておられますが、年齢が下がるごとに1回目と2回目初回接種と追加接種の接種率は下がる傾向にあります。

続いて21ページ目の上に進んでいただき、ワクチン別の接種実績になります。上の表が6回目のワクチン別の接種実績、下の表が1回目、2回目の初回接種の接種実績になります。傾向としては、ファイザー社ワクチンが好まれる傾向にはありますが、6回目接種時はファイザー社ワクチンが不足しており、それに伴いモデルナ社ワクチンを津市から配分した結果、4分の1程度がモデルナ社ワクチンを6回目で接種していただいております。

21ページの下に移っていただきまして、令和5年5月8日から始まりました春開始接種の実績となっております。対象は65歳以上の高齢者、5歳以上64歳以下の基礎疾患を有しておられる方、合計122,000人が対象となっており、接種率は65歳以上の方が約55%、基礎疾患をお持ちの5歳以上64歳以下の方が25%、合計で48.5%と約半数近い方が令和5年春開始接種を完了しておられます。

続いて22ページに移りまして、9月20日から始まっております、令和5年秋開始接種の概要についてご説明いたします。接種期間といたしましては、令和5年9月20日から令和6年3月31日までとなっております。ワクチンの確実な配送や接種体制の整備を考慮しまして、高齢者施設等で行う巡回接種が9月20日から、一般の個別接種につきましては10月1日から開始を予定しております。接種の法的位置づけは、新型コロナウイルス感染症に罹った場合の重症化予防を目的として特例臨時接種に位置づけられております。接種対象につきましては、初回接種を終えられた生後6か月以上の約274,000人となっております。使用するワクチンはファイザー社、モデルナ社のオミクロン株XBB.1.5対応1価のワクチンを基本としております。

次に、23ページ目からの資料7と資料8について説明いたします。8月29日に開催されました厚労省予防接種・ワクチン分科会において、五種混合ワクチンと15価肺炎球菌ワクチンが定期化に向けて検討されているとの議題が上がっておりますので概要をお伝えいたします。まず、23ページ目の五種混合ワクチンについては、阪大微研がすでに薬事承認を受けており、KMBについても薬事申請を行っておられる状況になります。今後、定期化に向けて接種期間の異なる四種混合とヒブワクチンの接種期間を揃えること、五種混合ワクチンと四種混合ワクチンの交互接種等につい

て検討されることになっております。

27ページ目からの小児に対する肺炎球菌ワクチンについては、現在、小児では13価肺炎球菌ワクチンのプレベナーが定期接種で使用しておりますが、15価肺炎球菌ワクチンのバクニューバンスが小児に対しても適応されるようになり定期接種化に向けてこれから検討されていくことになっております。

28ページ目の資料9には、参考として年度初めに委託医療機関に予防接種マニュアルと共に送付させていただいております、令和5年度予防接種事業変更点等についての資料を添付しておりますが、五種混合ワクチン、15価肺炎球菌ワクチンの定期接種化が決まりましたら、またご案内させていただきます。これで、資料の説明は以上になります。

【会長】ありがとうございました。

ただいまの事務局からの説明について、ご質問、ご意見等あればお願いします。

【委員】先ほどの説明とは関係がないのですが、ヒブワクチンの単価が上がったということで、大津市は現物支給していただいていますので医療機関は直接関係がないのですが、大津市の財政等は大丈夫でしょうか。

【事務局】契約をしている担当課に確認を行い、大津市の単価契約は年間契約となっておりますので、どの物品につきましても、年度途中で単価を上げる等の変更を想定せずに契約を4月当初に結んでおり、大津市につきましては、令和5年度は当初に契約した金額で1年間卸していただくということで確認しております。

【委員】ありがとうございます。良かったです。

【事務局】ありがとうございます。

【会長】他に質問等ございませんか。

【委員】高齢者肺炎球菌ワクチンが今までは5歳刻みの方を対象に行われていたが、今年度で最後になるということですね。

【事務局】はい。最後になります。

【委員】65歳になる方のみになりますよね。

【事務局】はい。今後は65歳になる方のみになります。

【委員】実際、目の前の患者さんにはその旨をお伝えしているのですが、今年で終わりだということをお知らせできればもう一度、広報していただきたいなと思います。

【事務局】大津市のホームページに掲載、9月15日号広報の掲載させていただいております。

【委員】高齢者の方はホームページをあまり見ないと思いますので、広報を活用していただくほうが良いかなと思います。ありがとうございます。

【事務局】ありがとうございます。

【会長】ありがとうございます。他にご質問等はありますか。

【委員】五種混合は現場としては大変歓迎しておりますので、早く定期接種になれば良いなと思っております。少し戻りますが、四種混合の追加の接種率が低かったですよね。予防接種ガイドで四種混合が標準的な接種期間が、ヒブや肺炎球菌とは異なるということが問題なのかと考えておりま

す。もし、五種混合が定期接種化され、その辺りが統一化されて接種期間がシンプルになれば、気をつけて接種はしているのですが、やはり現場での接種間違いが出ているので、制度としてシンプルで分かりやすくなれば良いかなと思っております。

【事務局】1歳になった時の追加接種が、ヒブ、肺炎球菌、水痘と麻しん風しん混合1期の同時接種が多いのですが、四種混合は少し時期をずらして接種されることが多く、接種忘れになるのかなと考えております。五種混合になれば、その辺りが解決するかなと思っております。

【委員】はい。期待しております。ありがとうございます。

【会長】ありがとうございました。他にご質問等ありますか。事務局は何か追加はありますか。

【事務局】特にありません。ありがとうございます。

【会長】ありがとうございます。以上で、本日の議事は全て終了いたしました。委員の皆様には、議事進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。また、事務局におかれましては、本日の各委員からの意見等を参考に、今後の事務をすすめていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。本日の議事を閉じさせていただきます。事務局にお返しします。

【事務局】重永会長には、議事進行をお務めいただきありがとうございました。また、委員の皆様におかれましても、長時間にわたりご協議、貴重な意見をいただきまして、ありがとうございました。以上をもちまして、大津市予防接種協議会を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。